

「竹」を「宝」に！千ク千ク大作戦



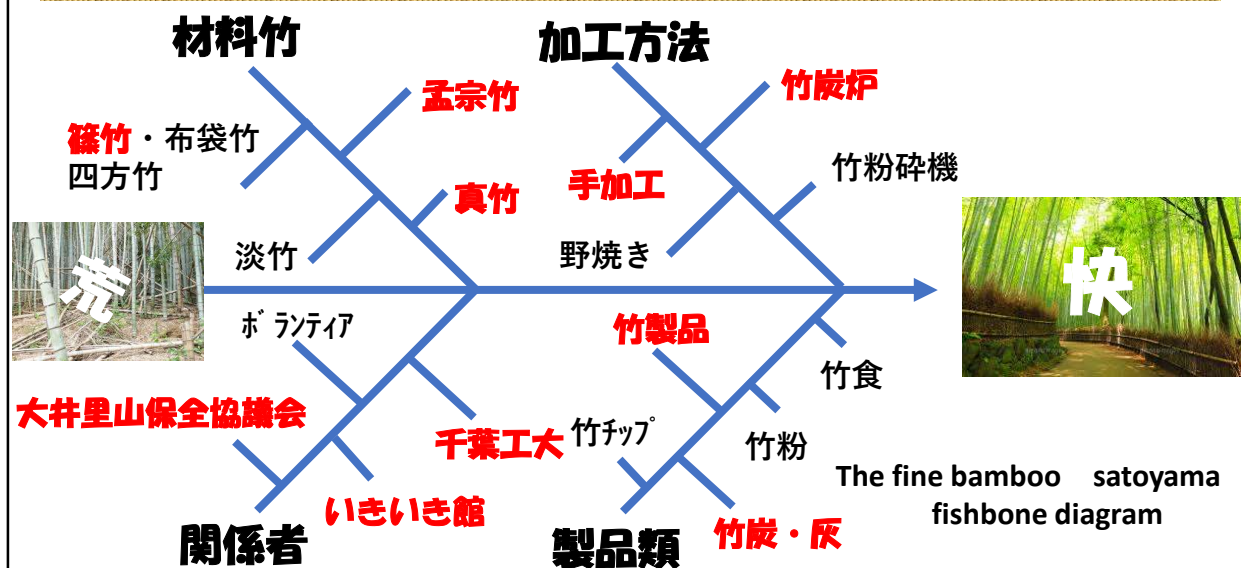
大井里山保全協議会の紹介

- 地域で「里山」を保全することを目的に4年前の2016年7月に結成
- 「中山間地域等直接支払交付金制度」の助成を受けて活動
- 大井地区の農地の維持とその周辺地域の草刈り・有害獣対策等を実施
- 約30名の会員の他に関心のある人にも呼びかけ後継者を育成
- その他に、他地域への研修・刈払い機の資格取得講習会開催等
- 地域への貢献事業:耕作放棄地の整備・移動手段の確保
- この活動の中で神崎地区の竹活用を見学
 - **大井地区での可能性を模索(2018年)**



1

2020年度の活動紹介・竹の可能性を探る



2

事業計画

2020年度	大井竹マップの作成 竹製品の調査 試作炉の設計と製作	千葉工大と連携 竹製品の種類と市場調査 燃焼効率と作業性を追求
2021年度	試験炉の改良 竹炭と竹酢の分析 商品化開始と販売開始	竹炭の粒状の篩分けと規格化 活性炭製作の挑戦 ネットを活用
2022年度	製造方法の標準化 生産コストの見直し 販路拡大	体験プログラムを実施 経過のまとめと記録化

3

2020年度の活動①・・・竹炭試験炉製作



4

2020年度の残件・・焦らず一步一步

テクテク 竹tech チクチク

- ・試験炉の仕上げ
>800℃のレベルまで
引き上げ・炭用竹の伐
採・乾燥

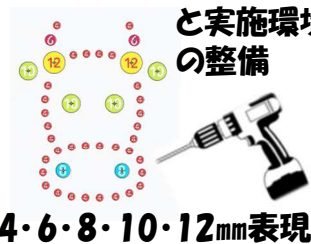


ドローン等の映像も活用

- ・大井竹まつりの作成

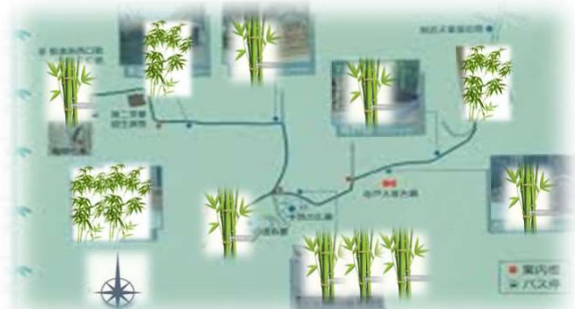


- ・体験型クラムの標準化



少人数プラン
と実施環境
の整備

4・6・8・10・12mm表現



竹の種類・サイズ別に作成・一部加工販売

7

2021年度の方角・・竹のSATOYAMAへ

2020年度残件遂行と当初計画の見直し

重点項目として以下を設定

- ① 関係者・交流人口の拡大
- ② 竹の加工技術の向上
- ③ 「竹学」を学習
- ④ 竹の商品化（創作体験型クラム・環境保全素材）



竹の可能性無限大



大井里山保全協議会

8